

# 私のおすすめ

◎このコーナーでは、子育てや障害、認知症・介護当事者の目線から、普段の暮らしに役立つ「おすすめ」なものを紹介します。

## 親子で「かながわの戦争」について学ぼう

夏が来ると思い起こされるものに“戦争”があります。しかし、太平洋戦争の終戦から70年以上経ち、体験した方の話を聞くことも少なくなった今、子どもたちにとっては遠い昔のできごとかもしれない。

そこで、私たちが住むかながわにも残されている戦争の跡を訪れ、親子で学んでみませんか。

今回は戦争について知り、考えることができる場所をご紹介します。

## ◆砲台や弾薬庫、兵舎の跡が残る「猿島」

横須賀市の三笠公園にある三笠棧橋から定期船に乗って約10分で渡れる「猿島」は、海水浴やバーベキュー、釣りを気軽に楽しめ、たくさんの家族連れやグループでにぎわう島です。



一般人の立ち入りを制限していたため、豊かな自然と要塞跡が残された猿島



中に司令部や弾薬庫があったレンガ造りのトンネル

島内には明治や昭和時代に旧日本軍が築いた要塞の跡が残され、ゆっくりと歩きながら見てまわれます。海を見下ろす高台に設けられた砲台、島の外から見えないように造られた弾薬庫や兵舎の跡など、美しい自然に囲まれていながらも、当時の緊張感が伝わってきます。

要塞についての詳細は、管理棟2階多目的ホールに

展示されている解説や写真で知ることができます。また、9月～11月や2月～7月の土・日・祝日に開催される「史跡見学ツアー」では、分かりやすい説明を聞きながら、じっくりと学べます。

## ◆戦争と平和について考える「川崎市平和館」

「川崎市平和館」は武蔵小杉駅から徒歩約10分の場所にあります。軍需工場が集まっていた川崎が焼け野原になった川崎大空襲の解説や写真、地下壕にあった軍事施設の模型をはじめ、日本の過去の戦争に関する物品や動画の展示を行っています。

さらに、“戦争がなければ平和だといえるのか。平和をおびやかす貧困や飢え、差別などがなく世界をつくることも必要だ”という考えのもと、それらについ

今月は ⇒ **NPO法人 ままとんきっず**  
がお伝えします！

今年で子育て支援活動25年目。お母さんたちが主体となって、親子が集うサロン、グループ保育、各種講座、産後サポート、子育て支援センターなどを運営。情報誌・単行本の発行物は40冊を超え、一部は海外でも翻訳出版。2015年末、高齢者の共同生活型住宅に隣接する新事務所に移転。子育て世代とシニア世代が交流できるコミュニティづくりで地域の活性化を目指し、活動の場を広げている。

〈連絡先〉〒214-0011川崎市多摩区布田24-26  
(JR南武線中野島駅から徒歩7分)  
☎044-945-8662 FAX 044-944-3009  
URL <http://www.mamaton.jpn.org/>



て知るための丁寧な解説も展示。

戦争だけでなく、平和とは何かを考えられます。



川崎大空襲のころの一般家屋を再現



解説は小学校高学年向け

## ◆かながわの戦争について学べる川崎市平和館のおすすめ図書『輝け杉の子』

(川崎市学童疎開記念碑建設五周年記念事業実行委員会発行)

戦時中に川崎から大山へ集団疎開した子どもたちの生活の様子が小学生向けにわかりやすく書かれた本。川崎市平和館内の図書館でも読めます。

## インフォメーション

### ■猿島への船(株式会社トライアングル)

3月～11月は毎日、12月～2月は土・日・祝日のみ運航  
(気象の都合で変更あり)

☎046-825-7144 FAX 046-825-7143

乗船料(往復) 大人1,300円、入園料 大人200円

URL <http://www.tryangle-web.com>

### ■川崎市平和館

☎044-433-0171 FAX 044-433-0232

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月・第3火曜日(祝日の場合は翌日休)

入館料 無料

URL <http://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/21-21-0-0-0-0-0-0-0-0.html>